

58・お話あそび会動画解説《年少》

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

1991年から「生活発表会」に疑問を感じて発表会の形を変え→「劇あそび会」→そして試行錯誤しつつ1995年から「お話あそび会」という名称を使い始めて今年度で29年2016年のマガジンにその頃の取り組みをレポートしました。8年前ですが、試行錯誤の振り幅は小さくなって、ノウハウが蓄積されてきた感があり、1年で一番たいへんな活動ながらも、こども園になってから園児数が減って職員数も増えてサポート態勢も充実し、以前のようにプレッシャーのかかる状況ではなくなった気がします。成熟期を迎えたのかもしれませんが。マンネリは後退のはじまりですから気をつけていかねばと思っています。自分たちの未来のためにもこの活動を記録していく必要があると感じ、動画の編集や、それを共有できる環境が整っている現代、動画で解説してみることにしました。

従来の発表会に何かしらの疑問をお持ちの方、保育を変えていきたいという思いをお持ちの方の参考にもなれば幸いです。

「お話あそび会」ってなに？と思った方は、以前のレポートを参照していただければ、方針は変わっていませんので、概要はお分かりいただけると思います。

◆マガジン24号「発表会の意味とは？」

保育施設で年間行事として行われる「発表会」表現活動としての意味は？
発表という舞台に追い込まれる先生、延いては追い込まれる子どもたちの構造について考える。
[▶https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol24/13.pdf](https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol24/13.pdf)

◆マガジン25号「お話あそび会実践レポート」

お話あそび会の園内提案（計画書）を紹介し、取り組みへの具体的な内容をレポート。
今回はこの内容を頭に入れつつ動画をご覧くださいこととなります。
[▶https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol25/14.pdf](https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol25/14.pdf)

◆マガジン26号「保護者への伝え方」

新しく行事を改革するときには保護者への説明と共感を引き出す子言うほうは必要不可欠になります。具体的なクラス便りなどを紹介して、その方法をレポート。
[▶https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol26/12.pdf](https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol26/12.pdf)

- ◆今回は年少児の取り組み動画解説ですので、マガジン25号をお読みいただければ書いてあるんですが、年少児のやり方を再掲しておきます。
以下は、保護者向け特集号に記載する文章ですが、端的に書かれているのでイメージがつかみやすいのではないのでしょうか。

保護者向け特集号に書かれている解説

年少児は、保育者のリードに乗っかってお話あそびを楽しみます。ストーリーのあるごっこ遊びといってもいいでしょう。舞台演出や小物、大人の演技に引っ張られて子どもたちはお話の世界に入り込みます。もともと、ごっこあそびの好きな年齢ですから、ぶっつけ本番でも良いぐらいですが、一つは、きちんとストーリーを流すこと。もう一つは、雰囲気にも飲まれやすい年少さんのために場慣れという意味で2～3回ほどわくわくホールを使い、お話あそびを行っていきます。

◆保育者向けには提案に詳しく取り組み方が書かれています。

◆年少児は、保育者のリードに乗ってイキイキとお話あそびを楽しむ

先生がお話の進行役となって一緒に演技しながら子どもたちの表現を引き出していきます。たいていは、主役の子どもたちを引き立てながらも、あそんでいるうちにストーリーから子どもたちがはみ出さないように劇中のセリフとして言葉掛けしながら進行できるお母さん役や登場人物のリーダーが適任です。このときに気をつけてほしいのが、あくまでも先生ではなく登場人物としてのセリフの中に子どもたちの動きや表現を促す言葉が発せられることです。たとえば「**さあ、ジャンプしましょう**」という指示語ではなく「**とんでみようか、どうする?**」という促す言葉が使えるように配慮します。

子どもの担当する役は一役（全員で同じ役、もしくはキャラクターを変えても同じ動き。）もしくは二役までのほうが良いでしょう。セリフは多く長くならないように気をつけ、子どもたちが言いやすいことばをみんなで言うようにします。

シナリオ作りは子どもたちの様子を見ながら先生がほとんど行います。構成は、ストーリーをなぞるだけでなく、場面場面でリトミック的な動き（子どもにとってはあそびの場面）を創作でも良いので挿入しながら、子どもたちの自然な表現、かわいい表現を引き出します。歌も場面ごとに歌っていくといいでしょう。

また、補助者（道具の出し入れや他の登場人物）の登場により、ストーリーの展開を面白くすることも必要なら取り入れていきます。

では、実際にご覧いただく動画の資料です。
保護者に事前に配布する「特集号の表紙」



2022年度
お話あそび会特集号

日程	開始	クラス	テーマ
1月25日(水)	10:15	年少めろん組	まいごのたまご
1月27日(金)	10:15	年少いちご組	ドーナツペンタくん
2月1日(水)	10:15	年中 ばら組	ももたろう
2月3日(金)	10:15	年中 ゆり組	かぐやひめ
2月8日(水)	10:40	年長 つき組	美女と野獣
2月10日(金)	10:15	年長 ほし組	そんごくう

※開始時間に遅れないようにおいで下さい。†

★お話あそび会の日には平常保育です。あそびっこも平常です。†

★参観はお子さんのクラス、そのほか他のクラスも参観可能です。†

★その日の解説をしますので、開始時には必ず会場にお入り下さい。†

★本番は業者さんの撮影によりBD、DVDにてお楽しみ下さい。†

○つき組は原小学校参観日との調整で開始時間が遅くなっています。†

☆欠席が多いため、配役は変更することもありますのでご了承下さい。†

《新型コロナ感染対策》†

①発熱など感染が疑わしい方は参観ご遠慮下さい。・②マスク着用・③手指消毒†

④大きな声で話さない・⑤玄関からわくわくホール以外には立ち寄らない†

⑥終了後は速やかに帰宅†

以上の項目をお守りください。†

はらまちようちえん

例年、年少組から順番に発表を行います。その中で2番目のクラスの動画です。おわかりのように、3学期が始まってすぐに本番ですので、導入は2学期に行っておきますが、短期間で遊び込み、本番に持って行きます。

特集号のページ（担任から粗筋などが書いてあります）

ドーナツペンタくん
～柴田 ケイコ～
いちごくみ 1月27日(金)10:15～

Story
*ペンタくんのキッチンカーを内緒で借りて、みんなでドーナツを売りに海へ出発～!! 今日までスイスイ全開でドーナツを売りに行きます◎すると... キッチンカーを探すとペンタくんが見つかてしまっています!! 誰が盗ったのか? みんなでドーナツを作っていると... どの子が盗ったのか? 盗んだのは誰か? 盗んだのは誰か?

Cast
*ペンタくん
→いぶきちゃん+格山
*ペンタくん
→いぶきちゃん
*〇〇
→Secret♡
*ピコちゃん
→いぶきちゃん

Stage
ステージ
キッチンカー
ココロドーナツを
作り始め◎
客席

Costume
*ペンタ帽子・双眼鏡・身につけるドーナツ(丸と用紙)
→髪を結ぶ際は、耳より下で結んでみてください! の
*リハーサルと当日はあさかなTシャツと あさかなスニーカーの着用を
お願いします◎ 下に着る長ズボンやタイツ、つっかけなどは
何でもOKです♡ 動きやすい格好をお願いします!
*ドキドキしているお友達もいると思いますが、あなかく見守り、
あげてください!!

image
ペンタくん
ドーナツを
あげてください!!

「ドーナツペンタくん」は絵本をモチーフにしています→

2022年度年少組 お話あそび会本番
『ドーナツペンタくん』解説動画



YouTubeが再生されないときはこちらのURLをブラウザにコピーして下さい。
<https://www.youtube.com/watch?v=kkMrW7mmWQM>

- ◆どのクラスも本番前日に、他クラスの子どもたちにお客さんになってもらってリハーサルを行います。
年少の場合はリハーサルでは一部本番と違うシナリオで行い、飽きが来ないでお話あそび会を遊べるように工夫しています。本番とは違う表情が見えると思います。良かったらご覧下さい。
(リハーサルのほうが動画が撮りやすいので、臨場感があり、保護者にも公開しています。)

『ドーナツペンタくんリハーサル』 解説無し



<https://www.youtube.com/watch?v=RLvtAEIX3zQ>

- ◆おまけ：お話あそび会のバックの絵を描いてます



「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-----|---|
| 1号 | エピソード (2010.06) | 31号 | 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12 |
| 2号 | 園児募集の時期 (2010.10) | 32号 | 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03 |
| 3号 | 幼保一体化 (2010.12) | 33号 | (休載) |
| 4号 | 障害児の入園について (2011.03) | 34号 | 働き方改革・一つの指針 (2018.09) |
| 5号 | 幼稚園の求活 (2011.06) | 35号 | 働き方改革って難しい (2018.12) |
| 6号 | 幼稚園の夏休み (2011.09) | 36号 | 満3歳児保育について (2019.03) |
| 7号 | 怪我の対応 (2011.12) | 37号 | 満3歳児保育・その2 (2019.06) |
| 8号 | どうする保護者会? (2012.03) | 38号 | プールができなくなる!? (2019.09) |
| 9号 | おやこぼ (2012.06) | 39号 | 跳び箱 (2019.12) |
| 10号 | これは、いじめ? (2012.09) | 40号 | 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉
(2020.03) |
| 11号 | イブニング保育 (2012.12) | 41号 | コロナ休園 (2020.06) |
| 12号 | ことばのカリキュラム (2013.03) | 42号 | コロナ休園から再開へ (2020.09) |
| 13号 | 日除けの作り方 (2013.06) | 43号 | ティーチャーチェンジ (2020.12) |
| 14号 | 避難訓練 (2013.09) | 44号 | 除菌あれこれやってみた (2021.03) |
| 15号 | 子ども子育て支援新制度を考える | 45号 | マスクと表情 (2021.06) |
| 16号 | 教育実習について (2014.03) | 46号 | 感染予防と情報発信 (2021.09) |
| 17号 | 自由参観 (2014.06) | 47号 | 親子ソーラン節 (2021.12) |
| 18号 | 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 48号 | 親子コンサート (2022.03) |
| 19号 | こんな誕生会はいかが? (2014.12) | 49号 | うんちでたー! (2022.06) |
| 20号 | ITと幼児教育 (2015.03) | 50号 | 子どもが育つ園庭・その1 木登りとブランコ
(2022.09) |
| 21号 | 楽しく運動能力アップ (2015.06) | 51号 | 子どもが育つ園庭・その2 砂場 (2022.12) |
| 22号 | (休載) | 52号 | 子どもが育つ園庭・その3 ストライダーと
Tonka (2023.03) |
| 23号 | 大量に焼き芋を焼く (2015.12) | 53号 | リスクと安全・園庭編 (2023.06) |
| 24号 | お話あそび会その1 (発表会の意味) 2016.03 | 54号 | 夏の音楽会・動画 (2023.09) |
| 25号 | お話あそび会その2 (取り組み実践) 2016.06 | 55号 | クリスマス劇・動画 (2023.12) |
| 26号 | お話あそび会その3 (保護者へ伝える) 2016.09 | 56号 | こいのぼり製作 (2024.03) |
| 27号 | おもちゃのかえっこ (2016.12) | 57号 | この頃、気になること (2024.06) |
| 28号 | 月刊園便り「はらっば」 (2017.03) | 58号 | お話あそび動画解説《年少編》 (2024.09) |
| 29号 | 石ころギャラリー (2017.06) | | |
| 30号 | 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09 | | |

▶気になる記事・ご感想質問等ありましたら気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.ed.jp



こもれびのなかのおはなし

はらまち

HARAMACHI Kindergarten
est.1957